

第13 森林と林業

I 施策体系

- 森林・林業・林産業施策の転換期を迎えていることを念頭に、3つの政策の柱に沿って、現場視点、市町村や事業体等との連携、多様な情報の適切な発信を意識し、地域の課題を的確に把握しつつ重点的に推進する施策等を明確にして取り組む。

政策の柱		大項目	事業名
総合5か年計画	1	持続可能で安定した暮らしを守る	地球環境を保全する - 拡 ● 木造・木質化支援事業 信州の森林づくり事業（公共・県単） ● ・人工造林・初期保育の高上げ ● ・防災・減災のための里山整備 ● ・再造林省力化モデル推進事業 - 拡 □ 林地残材等有効活用支援事業 - 拡 木質バイオマス循環利用普及促進事業 - 新 特定鳥獣保護管理事業 ● ・ツキノワグマ生息状況調査 - 新 野生鳥獣総合管理対策事業 ● ・シカ特別対策等事業 ● ・再造林推進シカ捕獲サポート事業 - 拡 ・ツキノワグマ総合対策事業 - 新 ・ツキノワグマ対策専門人材育成支援事業 - 拡 ・ハンターデビュー支援事業 - 新 ツキノワグマ被害対策緊急対応事業 ● 地球温暖化防止吸収源対策推進事業 - 拡 □ SDGs森林の再生発信事業 - 拡 □ 森林経営管理体制支援事業
		災害に強い県づくりの推進	治山事業（公共・県単・直轄） 信州の森林づくり事業（公共・県単）〔再掲〕 ● ・防災・減災のための里山整備〔再掲〕 ● 市町村森林整備支援事業 - 林業公社事業費 - 松林健全化推進事業 - 拡 広葉樹等枯損対策事業
	2	産業の生産性と県民所得の向上を図る	林道事業（公共・県単） 信州の森林づくり事業（公共・県単）〔再掲〕 ● ・人工造林・初期保育の高上げ〔再掲〕 ● ・再造林省力化モデル推進事業〔再掲〕 - 野生鳥獣総合管理対策事業〔再掲〕 ● ・再造林推進シカ捕獲サポート事業〔再掲〕 - 高性能林業機械導入推進事業 - 林業総合センター試験研究普及費 - 新 □ 信州の木供給体制整備事業 - 木材産業循環成長対策事業 - 優良苗木の安定供給促進事業 - 拡 □ ・エリートツリー等種子安定供給事業 - 林業労働力対策事業 ● 森林整備担い手育成確保総合対策事業 - 拡 □ ・信州の森林で働く人材確保推進事業 □ ・林業労働力緊急確保対策事業 □ ・林業労働力活用促進対策事業 - 拡 ● 多様な林業の担い手確保育成事業 □ 林業大学校運営費 - 林業就労条件整備促進事業 - 拡 □ 林業労働災害防止対策事業 □ 持続的な林業経営の確立支援事業 - 拡 □ 木曽谷・伊那谷フォレストバレー形成事業
		人や社会に配慮した環境再生的で分配的な経済を実現する	拡 ● 木造・木質化支援事業〔再掲〕 - 拡 ● ・広く県民が利用する施設等の木造・木質化 - 拡 木質バイオマス循環利用普及促進事業〔再掲〕 □ ウッドチェンジ普及促進支援事業 - 拡 □ ウッドもっとつなぐ事業 - 拡 □ ・県産材製品情報収集・解析・発信事業 - 新 □ 信州の木供給体制整備事業〔再掲〕
		地域に根差した産業を活性化させる	林業労働力対策事業〔再掲〕 - 拡 □ ・信州の森林で働く人材確保推進事業〔再掲〕 - 拡 □ 林業労働災害防止対策事業〔再掲〕 - 拡 □ 木曽谷・伊那谷フォレストバレー形成事業〔再掲〕
	3	快適でゆとりのある社会生活を創造する	● 森林サービス産業総合対策事業 ● 開かれた里山の整備・利用推進事業 - 拡 県営総合射撃場運営事業 - 戸隠森林植物園・森林学習館管理費 - 県民の森管理事業 - 拡 □ スマート林業構築普及事業 □ 森林路網DX推進事業
	4	誰にでも居場所と出番がある社会をつくる	働き方改革を推進し、就労支援を強化する 拡 ● 多様な林業の担い手確保育成事業〔再掲〕
	5	誰もが主体的に学ぶことができる環境をつくる	高等教育の振興により地域の中核となる人材を育成する □ 林業大学校運営費〔再掲〕

新：新規事業

拡：拡充事業

●：長野県森林づくり県民税活用事業（一部活用含む）

□：森林環境譲与税活用事業（一部活用含む）

Ⅱ 地域の森林・林業の状況及び事業の概要

1 持続可能で安定した暮らしを守る森林づくり

(1) 森林の状況及び適切な森林の管理

ア 森林の状況

- 管内の森林面積は 100,909ha で県全体の 10%を占め、森林率(管内面積に占める森林面積)は 65%で、県全体の 78%より低くなっている。また、民有林の占める割合は 81%で県全体の 65%を上回っている。
- 民有林の人工林のうち、森林整備が必要な 3～12 齢級(11～60 年生)の森林面積は 12,801ha で人工林全体の 35%を占めている。
- 民有林の人工林のうち、主伐期を迎えている 13 齢級(61 年生)以上の森林面積は 24,231ha で人工林全体の 65%を占め、さらにスギが 8,794ha で 53%を占めている。

【市町村別森林面積】

(単位：ha、%)

区分 市町村		森林面積	森林率	内 民 有 林 記					
				国有林 面 積	民 有 林				
					計	人工林	人工林率	天然林	その他
長野市		52,454	62.8	11,044	41,410	18,377	44.4	21,588	1,445
須坂市		10,183	68.0	1,848	8,335	4,608	55.3	3,246	481
千曲市		6,919	57.8	0	6,920	3,579	51.7	3,171	169
坂城町		3,592	67.0	0	3,592	1,540	42.9	1,985	75
小布施町		254	13.3	0	254	59	23.4	173	22
高山村		8,382	85.0	830	7,553	3,384	44.8	3,539	630
信濃町		10,808	72.4	5,552	5,255	2,344	44.6	2,830	81
飯綱町		3,972	53.0	366	3,606	1,702	47.2	1,883	21
小川村		4,344	74.8	84	4,260	1,521	35.7	2,652	87
管内計（A）		100,909	64.8	19,725	81,183	37,115	45.7	41,060	3,008
構成比		100.0		19.5	80.5	36.8		40.7	3.0
長野県	県合計（B）	1,056,387	77.9	368,028	688,105	334,967	48.7	333,219	19,920
	構成比	100.0		34.9	65.1	31.7		31.5	1.9
県に占める割合（A/B）		9.6		5.4	11.8	11.1		12.3	15.1

出典：長野県民有林の現況（令和 7 年 9 月 1 日現在）

【管内齢級別面積】

(単位：ha)

齢 級	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13～	計
人工林	56	28	26	20	81	224	364	639	1,353	2,110	3,013	4,971	24,231	37,115
(割合)	0.2%		34.5%										65.3%	100%
スギ	11	3	5	4	14	71	219	504	1,063	1,490	1,952	2,531	8,794	16,662
(割合)	0.1%		47.1%										52.8%	100%
カラマツ	45	16	18	1	6	19	26	43	64	259	627	1,832	14,204	17,159
(割合)	0.4%		16.8%										82.8%	100%

出典：長野県民有林の現況（令和 7 年 9 月 1 日現在）

イ 適切な森林の管理

- ☐ 国の事業を活用し、森林組合等が実施する間伐等の森林整備を支援した。
- ☐ 主伐後の再造林を計画的に進めており、令和7年度実績は16.8haとなった。
- ☐ 効率的な森林の施業及び適切な森林の保護を目的とした森林経営計画の認定状況は、令和6年度末で10,531ha、民有林のカバー率は13%となっている。

【信州の森林づくり事業】

(単位：千円)

区 分		事業種類	令和6年度実績		令和7年度実績		前年度比
			事業量	補助金額	事業量	補助金額	
森林環境保全直接支援事業		間伐、保育間伐	115.8 ha	52,813	75.5 ha	31,819	60 %
		更新伐	9.9 ha	4,751	—	—	—
		地拵え	26.6 ha	9,888	13.2 ha	4,507	46 %
		植栽	26.9 ha	29,887	16.2 ha	16,538	55 %
		下刈り等	60.4 ha	13,379	76.5 ha	18,250	136 %
		森林作業道	13,661 m	24,865	7,143 m	13,648	55 %
		小 計	239.6 ha 13,661 m	135,583	181.3 ha 7,143 m	84,762	63 %
みんなで 支える 里山整備 事業	防災・減災のた めの森林整備	保育間伐	5.3 ha	1,774	1.3 ha	425	24 %
		間伐	38.9 ha	23,206	68.9 ha	38,640	167 %
		森林作業道	3,708 m	11,211	8,072 m	20,341	181 %
	開かれた里山の 整備事業	地拵え	—	—	0.5 ha	225	皆増
		植栽	—	—	0.5 ha	558	皆増
		下刈り等	—	—	4.4 ha	1,151	皆増
		小 計	44.2 ha 3,708 m	36,191	75.6 ha 8,072 m	61,340	169 %
計		283.8 ha 17,369 m	171,774	256.9 ha 15,215 m	146,101	85 %	

出典：長野県長野地域振興局調べ

注) 事業種ごとに千円未満を四捨五入したため各事業種の合計と計は一致しない。

【管内民有林における主伐・再造林の推移】

(単位：ha)

区 分	H29	H30	R元	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9
主 伐	81	65	65	76	73	49	46	44	—	—	—
再造林	目標						18.8	23.1	27.4	31.7	36.0
	実績	3	2	3	7	14.5	6.3	24.3	29.4	16.8	—
天然更新	64	58	58	65	60	33	37	35	—	—	—

出典：長野県長野地域振興局調べ

【森林経営計画認定状況】

(単位：ha)

区 分	H29	H30	R元	R2	R3	R4	R5	R6
認 定 面 積	626	2,845	2,087	2,012	2,157	1,032	1,320	4,938
年度末有効面積	13,885	11,376	9,817	9,015	9,727	10,133	10,893	10,531
民有林カバー率	17.1%	14.0%	12.1%	11.1%	11.9%	12.5%	13.4%	13.0%

注1 「認定面積」は年度中に認定された面積、「当該年度有効面積」は年度末時点の認定有効面積

2 県知事認定の計画(県営林、林業公社等)は含まない。

(2) 山地災害対策

ア 山地災害危険地区の設定状況

- ☐ 管内で山腹崩壊等の危険地区が1,308箇所設定されており、県全体の18%を占め、うち地すべり危険地区は184箇所県全体の48%を占めている。
- ☐ 近年、局所的な豪雨等による山腹崩壊等が分散的・多発化しており、これまで以上に中山間地域の集落単位での防災意識の高揚が必要となっている。

【民有林における山地災害危険地区の設定状況(R8.1.1時点)】

(単位：箇所)

区 分	長野市	千曲市	須坂市	坂城町	小布施町	高山村	信濃町	飯綱町	小川村	小 計	県全計
山腹崩壊	251	68	78	28	5	44	4	6	40	524	3,276
崩壊土砂流出	399	53	22	20		20	4	14	68	600	3,653
地すべり	154	3				6	1	3	17	184	386
計	804	124	100	48	5	70	9	23	125	1,308	7,315

出典：長野県林務部調べ（令和8年1月現在）

イ 事業の実施状況

- 被害状況の調査をもとに、市町村や地域の要望を踏まえ、国の補助制度を活用した山地治山総合対策や県単治山事業等を計画的に実施している。

【山地災害対策関連事業の実績及び計画】

(単位：千円)

予算 区分	区 分		令和 7 年度 (実績)		令和 8 年度 (計画)		前年 対比 (B/A)
			箇所 数	事業費 (A)	箇所 数	事業費 (B)	
補 助	山地治山総合対策	復旧治山	3	159,207	4	141,700	89 %
		緊急総合地すべり防止	2	63,008	0	0	0 %
		保安林整備	1	2,002	0	0	0 %
交付金	治山事業	予防治山	5	148,581	5	314,562	212 %
小 計			11	372,798	9	456,262	122 %
災害	災害関連緊急治山		1	9,625	1	68,145	708 %
公 共 計			12	382,423	10	524,407	137 %
県単治山事業			7	18,798	10	65,113	346 %
合 計			19	401,221	20	589,520	147 %

出展：長野県林務部調べ（令和8年4月現在）

(3) 野生鳥獣被害対策

ア 野生鳥獣被害の状況

- 農林業被害は1億4百万円で農業被害が前年比103.1%となった。
- 農業被害の主な被害鳥獣は被害額の大きい順に、イノシシ、ニホンジカ、カラス、ニホンザル、ハクビシンで、全体の約8割を占める。

【野生鳥獣被害額の推移】

(単位：百万円)

区 分	H27	H28	H29	H30	R 元	R2	R3	R4	R5	R6
農業被害	116	113	100	96	97	99	95	98	98	101
林業被害	3	2	2	0.2	0.1	0.01	0.2	9	9	4
合 計	118	115	102	96	97	99	95	107	107	104

出典：長野県林務部「野生鳥獣による林業被害調査」及び農政部「野生鳥獣における農作物の被害状況調査」

注）百万円未満四捨五入のため内訳と合計は一致しない。

イ 被害対策の実施状況

- ☐ 市町村の要望に基づき、捕獲対策・担い手対策・侵入防止柵・緩衝帯整備を組み合わせ実施している。
- ☐ ニホンジカの有害捕獲の捕獲数が伸びており、捕獲に係る補助金額も増加している。

【補助事業の実績】

(単位：千円、%)

区 分		令和 6 年度実績			令和 7 年度実績			前年度比 (補助)
		市町村数	事業費	補助金額	市町村数	事業費	補助金額	
鳥獣被害防止 総合対策交付金事業	緊急捕獲（個体数調整）	9	40,603	20,002	9	49,259	23,771	118.8
	シカ特別（シカ個体数調整）	1	6,512	3,000	1	3,264	3,000	100.0
	総合支援（ジビエ振興）	1	2,002	2,000	1	1,690	1,135	56.8
野生鳥獣対策 事業	国庫（わな購入）	2	506	252	2	635	315	125.0
	県単（放獣、個体数調整）	9	6,236	1,860	9	15,108	2,245	120.7
特定管理鳥獣 対策交付金事業	クマ類総合対策	-	-	-	3	3,035	1,872	皆増
合 計		9	55,859	27,114	9	72,992	32,338	119.3

出典：長野県長野地域振興局調べ

【主要な野生鳥獣の捕獲数の推移】

(単位：頭、羽)

区 分	H26	H27	H28	H29	H30	R 元	R2	R3	R4	R5	R6
ツキノワグマ	138	27	43	44	44	69	82	59	50	82	79
イノシシ	1,574	1,233	1,544	1,776	1,684	2,258	1,090	968	1,204	1,563	1,042
ニホンジカ	1,081	983	1,116	1,283	1,370	1,731	2,237	2,512	2,438	2,517	2,945
ハクビシン	424	388	429	466	460	573	614	485	512	438	455
カラス	1,283	1,097	1,142	988	297	1,506	782	610	942	401	418

出典：長野県林務部「鳥獣関係統計報告（環境省）」（許可捕獲、狩猟）

(4) 松くい虫被害対策

ア 被害状況

- ☐ 令和 6 年度に被害量が増加に転じたが、被害対策の実施により令和 7 年度の被害量は減少した。特に被害量が多い長野市、千曲市、坂城町で減少している。

【松くい虫被害量の推移】

(単位：m³、%)

区 分	H28	H29	H30	R 元	R2	R3	R4	R5	R6	R7
長野地域	6,725	5,613	7,462	7,925	7,946	6,390	7,003	7,921	12,426	6,387
長野県	73,085	74,049	71,996	70,440	64,022	51,443	53,949	55,280	60,015	53,046
割 合	9.2	7.5	10.3	11.2	12.4	12.4	12.9	14.3	20.7	12.0

出典：長野県林務部「林業統計書」、「松くい虫被害木調査報告書」

イ 被害対策の状況

□ 市町村が行う被害木の除去や空中薬剤散布等の取組を支援している。

【松くい虫防除対策事業の実績と計画】

(単位：千円)

区 分		令和 7 年度実績		令和 8 年度計画		前年比 (B/A)
		事業量	事業費 (A)	事業量	事業費 (B)	
松林健全化 推進事業	特別防除 (空中薬剤散布)	25.00 ha	1,410	25.00 ha	1,414	100 %
	地上薬剤散布	17.87 ha	2,482	17.87 ha	2,686	108 %
	無人ヘリコプター散布	4.50 ha	480	4.50 ha	492	103 %
	薬剤防除安全確認調査	32 検体	1,814	32 検体	1,884	104 %
	伐倒駆除	317 m ³	9,402	216 m ³	6,936	74 %
	小 計		15,588		13,412	86 %
保全松林緊急 保護整備事業	衛生伐 (伐倒くん蒸)	1,064 m ³	37,978	3,121 m ³	121,895	321 %
	小 計		37,978		121,895	321 %
市町村森林整備 支援事業 (森林税)	枯損木利活用	70 m ³	2,237	39 m ³	1,250	56 %
	森林外被害木処理	8 m ³	422	14 m ³	780	185 %
	小 計		2,659		2,030	76 %
計			56,225		137,337	244 %
その他 (市町村単独等)	伐倒駆除	1,579 m ³	—	未定	未定	—

出典：長野県長野地域振興局調べ。事業量、事業費は補助対象で表示。その他は市町村被害量調査（駆除実績）調べ。

2 創造的で強靱な産業の発展を支援する森林づくり

(1) 林業・木材産業等の状況

- 林業従事者数の推移をみると、令和 6 年には 167 人で 10 年前と比較して△42%となっている。
- 高性能林業機械の導入状況は、管内の林業事業体に令和 7 年度には 1 台配備された。
- 路網整備の状況は、令和 7 年度に 20 箇所で開催等に取り組み、着実に延伸している。
- 適正な主伐と計画的な再造林の実施に向け、「長野県主伐・再造林推進ガイドライン」に基づく災害リスクの低減や伐採届等の手続きの確実な履行に向けて、事業体に対し的確な指導を行うとともに、苗木の安定確保に取り組むことが必要である。
- 森林経営管理制度を効率的に実施するため、市町村との情報共有や実施方針作成、意向調査など森林整備の実施に向けた取組を支援している。

【長野管内の林業事業体・林業従事者数の推移】

区 分	H26	H27	H28	H29	H30	R 元	R2	R3	R4	R5	R6
事業体数	18	19	19	16	17	15	14	14	17	17	17
従事者数 (人)	288	194	192	177	163	158	148	152	173	172	167

出典：長野県林務部「林業事業体等の調査 (R7 調査)」

【高性能林業機械の導入実績】

(金額単位：千円)

区 分	事業主体	令和 6 年度実績		令和 7 年度実績	
		事業内容	補助金額	事業内容	補助金額
高性能林業 機械導入推 進事業	長野森林組合	フォワーダ 1 台	4,284	フォワーダ 1 台	7,600
	北信木材生産セン ター協同組合	ハーベスタ 1 台	14,650		
計		2 台	18,934	1 台	7,600

【林道事業の実績及び計画】

(単位：千円)

事業 区分	事業名	路線名	令和7年度実績		令和8年度計画	
			延長（m）	事業費	延長（m）	事業費
県営	開設事業	信濃町 古海（支）線	(260)	23,900	620	25,700
	小 計		(260)	23,900	620	25,700
補助	改良事業	長野市 大川線	2 箇所 88	40,000	1 箇所 111	30,500
		千曲市 芝平樽滝線	1 箇所 51	41,920	—	—
		千曲市 宮坂線	—	—	1 箇所 100	27,400
		千曲市 測量委託(3 路線)	3 箇所	4,173	—	—
	点検診断	長野市 大川線	1 箇所	3,700	1 箇所	4,500
		小川村 上和桐山・李平線	3 箇所	1,240	—	—
	保全整備	須坂市 米子不動線	1 箇所	3,300	—	—
		坂城町 平沢線	—	—	1 箇所	900
	小 計		11 箇所 139	94,333	4 箇所 211	63,300
災害	林道施設災 害復旧事業	千曲市 中原入線	1 箇所 206	15,004	—	—
		高山村 中日影線	1 箇所 44	7,392	—	—
	小 計		2 箇所 250	22,396	—	—
合 計			389	140,629	831	89,000

出典：長野県林務部調べ

注1 事業費は、前年度からの繰越額及び年度内支払額としている。

2 令和8年度計画額は令和8年度実施予定事業費と令和7年度から繰越事業費としている。

3 災害の事業費は補助対象額とする。

4 延長 () 書きは2か年施工。

【森林作業道(森林整備に伴うもの)の開設実績及び計画】

(単位：m、千円)

事業名	令和7年度実績			令和8年度計画		
	路線数	延長	事業費	路線数	延長	事業費
信州の森林づくり事業	17	15,215	33,989	21	16,389	41,570
自 力	—	2,708	4,614	調査中		
計	17	17,923	38,603	21	16,389	41,570

出典：長野県林務部調べ

(2) 木材産業の状況

- 木材価格の推移をみると、スギの中丸太 (径 24~28 cm) は令和8年3月時点で 14,000/㎡で平成27年度の年平均 9,800 円/㎡を底値に近年横ばいとなっている。
- 長野県が独自に行っている素材生産量の調査によると、長野管内では令和6年が約 7 万㎡で、令和元年 (5 年前) の 85% となっている。
- 長野管内でも合板需要に的確に対応しつつ、スギ大径材の建築用材利用をはじめ、土木用材や木質バイオマス利用まで幅広い需要開拓が必要であるとともに、地域の林業・林産業の関係者が連携し、木材需要の的確な把握と素材の安定供給との需給調整を行っていく体制づくりが必要である。

【木材価格の推移】

(単位：円/㎡)

区 分	H17	H22	H27	R3	R4	R5	R6	R7	R8.3月
スギ	14,300	11,500	9,800	14,000	16,000	14,400	14,300	13,900	14,000
ヒノキ	25,500	21,100	15,300	22,000	23,000	17,500	18,500	20,500	21,100
アカマツ	10,400	7,800	9,200	11,300	14,500	13,400	12,800	12,800	11,500
カラマツ	13,400	12,700	12,800	17,000	21,800	20,300	20,800	19,800	20,100

出典：長野県林務部「長野県の木材価格」から抜粋

【長野管内の素材生産量の推移】

(単位：m³)

区 分	H26 (10年前)	R元 (5年前)	R2	R3	R4	R5	R6	R6/ 10年前	R6/ 5年前
国有林	18,781	32,738	20,022	28,109	25,775	27,669	23,912	127 %	73 %
民有林	41,968	50,214	46,873	37,543	35,113	38,723	46,753	111 %	93 %
計	60,749	82,952	66,895	65,652	60,888	66,392	70,665	116 %	85 %

出典：長野県木材統計（1月～12月）

【木材生産額】

区 分		生 産 量		生産額（推計）	
種別			前年比（%）	（千円）	前年比（%）
木 材	一 般 用 材 等	70,665 m³	106.4	1,010,510	105.7
	し い た け 原 木	3.4 千本	70.8	1,488	88.7
	計	—	—	1,011,998	105.7

出典：長野県木材統計（R7年1月～12月）をもとに推計、第25回長野森林組合総代会資料

(3) 特用林産物

□ なめこが全体の約9割を占める。令和7年はまつたけが不作だった。

【特用林産物の生産動向】

(単位：t、千円、%)

区 分		生 産 量		生産額（推計）	
種別			前年比		前年比
特 用 林 産 物	生 し い た け	18.8	98.4	18,629	120.5
	な め こ	1,503.4	95.5	676,828	104.3
	ま つ た け	0	—	0	—
	木 炭	147.1	97.4	7,667	43.8
	山 菜	5.5	5500.0	4,507	109.5
	そ の 他	—	—	128	241.5
	計	—	—	707,759	103.1

出典：長野県林務部「R7特用林産物生産統計調査(R7年1月～12月)」

3 快適でゆとりのある社会生活を創造する森林づくり

(1) 森林づくり県民税等を活用した施策の取組状況

- 県民等が里山の森林に親しむことができるよう、開かれた里山整備事業により地域住民等による里山整備や利活用活動を支援した。
- ライフライン沿線等の支障木伐採や観光地の景観整備、野生鳥獣被害対策のための緩衝帯整備等の市町村からの要望の高い取組をメニュー化して支援した。

【開かれた里山等関係事業】

(単位：千円)

区 分		令和6年度実績		令和7年度実績		備 考
		箇所数	補助金額	箇所数	補助金額	
里山整備利用地域活動推進事業	開かれた里山	2 地区	1,271	2 地区	1,600	富が原一重山
	一 般	4 地区	1,252	2 地区	1,124	七二会3 猿ヶ馬場峠
里山資源利活用推進事業	開かれた里山	2 地区	335	2 地区	629	富が原一重山
	一 般	2 地区	573	1 地区	125	七二会3
計		6 地区	3,431	4 地区	3,478	

【里山整備利用地域の認定状況】

(単位：ha)

認定年度	市町村	地域名	中心となる集落名	面積	活動主体の名称
H30	須坂市	離山	豊丘	3	離山を守る会
	長野市	七二会	坪根（滝谷）	108	NPO 法人信州フォレストワーク
	須坂市	臥竜公園	小山、南原、北原	16	臥竜公園里山整備利用推進協議会
	須坂市	塩野	塩野	63	塩野地区利用推進協議会
	長野市	浅川	台ヶ窪	112	あさかわの里山と森を守る会
	坂城町	上平	上平	446	上平森林協働整備協議会
	長野市	戸隠豊岡	豊岡	58	戸隠森林整備クラブ
R 元	信濃町	柏原上ノ原	上ノ原	21	日中友好の森林づくり推進協議会
	長野市	七二会 2	論地	5	七二会里山整備利用推進協議会
	信濃町	富が原	富が原	172	富が原里山整備利用推進協議会
R 2	坂城町	中之条	中之条	371	中之条区里山整備協議会
	須坂市	井上	井上	15	井上城址さくらの会
R 3	千曲市	小坂山	桑原小坂、稲荷山元町	37	千曲市川西地区振興連絡協議会里山整備部会
R 4	長野市	信州新町信級	信級	824	信級きぼうの森
	千曲市	一重山	屋代	13	一重山みらい会議
R 5	長野市	七二会 3	平出	190	七二会森林クラブ
	千曲市	猿ヶ馬場峠	八幡（中原区）	99	八幡地区里山整備委員会
R 6	信濃町	富が原	大井	172	富が原里山整備利用地域
	千曲市	一重山	屋代	13	一重山みらい会議

出典：長野県長野地域振興局調べ

【市町村森林整備支援事業一覧】

(単位：千円)

区分	事業の種類	R 7 実績			R 8 計画		
		面積等	事業費	補助金	箇所数	事業費	補助金
長野市	観光地等の景観整備	121 本	2,124	1,909	3 箇所	2,591	2,320
	緩衝帯の整備	1.36ha	5,148	4,609	3 箇所	2,555	2,298
	ライフライン等保全対策				1 箇所	990	891
	計		7,272	6,518		6,136	5,509
須坂市	緩衝帯の整備	0.83ha	1,517	1,365	3 箇所	1,086	976
	森林外被害木処理	2.4 m ³	132	66	1 箇所	495	247
	計		1,650	1,431		1,581	1,223
千曲市	観光地等の景観整備	0.16ha	895	805	1 箇所	800	720
	緩衝帯の整備				1 箇所	2,045	1,840
	計		895	805		2,845	2,560
坂城町	枯損木利活用	70 m ³	2,486	2,237	1 箇所	1,263	1,125
高山村	森林外被害木処理	5.4 m ³	289	118	1 箇所	280	140
	緩衝帯整理	0.22ha	1,200	1,050			
	観光地等の景観整備				1 箇所	2,577	2,319
	ライフライン等保全対策				1 箇所	605	81
	計		1,489	1,168		3,462	2,540
信濃町	観光地等の景観整備				1 箇所	939	819
飯綱町	ライフライン等保全対策				2 箇所	3,176	2,490
	観光地等の景観整備	21 本	1,308	1,164			
	計		1,308	1,164		3,176	2,490
小川村	ライフライン等保全対策	26 本	1,449	1,035	2 箇所	3,646	650
	観光地等の景観整備				1 箇所	920	100
	計		1,449	1,035		4,566	750
合 計			16,548	14,358		23,968	17,016

(2) 森林の多面的利用の取組状況

- 県民に対する森林・林業に関する知識・技術の普及や森林レクリエーションを体験する場として戸隠森林植物園と森林学習館の管理を行っている。
- 健康や教育、観光等の他分野で森林空間を活用する取組として、信濃町が取り組む修景伐採や歩道等の整備等を支援した。
- 学校等を活用した森林環境教育を行う学校や団体に対し、森林整備や森林環境教育に必要な資機材の導入等を支援した。

【戸隠森林植物園・森林学習館の利用実績】

(単位：人)

区 分	R 元	R2	R3	R4	R5	R6	R7
森林植物園	109,459	30,790	43,715	87,990	110,087	114,070	117,289
森林学習館	14,259	6,590	7,150	9,500	8,565	9,272	8,145

出典：長野県長野地域振興局調べ

【森林サービス産業活動支援事業】

(金額単位：千円)

区 分		R 6 実績	R 7 実績	備考
森林セラピー基地等 施設整備支援事業	市町村数	1	1	信濃町
	補助金額	800	726	

出典：長野県長野地域振興局調べ

【学びと育ちの森づくり推進事業】

(金額単位：千円)

区 分		R 6 実績	R 7 実績	備考
森林環境教育フィールド の整備（県立学校以外）	対象件数	5	5	松ヶ丘小みどりの少年団 高徳中みどりの少年団 三本柳小みどりの少年団 グリーンヒルズ小 緑ヶ丘小みどりの少年団
	補助金額	972	759	
指導者の派遣及び資機材 の導入（県立学校以外）	対象件数	4	4	松ヶ丘小みどりの少年団 高徳中みどりの少年団 三本柳小みどりの少年団 グリーンヒルズ小
	補助金額	251	380	
学校林の整備支援 （県立学校）	対象件数	1	1	長野工業高校
	事業費	992	499	
計	金 額	2,214	1,638	

出典：長野県長野地域振興局調べ

(3) みどりの少年団活動等

- 県下で最も団数が多く、小中学校を併せて 52 団が活動している。
- こどもたちが森林に触れる機会を創出するため、学校林の整備や指導者の派遣等により支援を行っている。

【みどりの少年団の設立状況（令和 8 年 4 月現在）】

区 分	設 立 年 度	設立団数	対象学年	団 員 数
小 学 校	昭和 55 年度～令和 4 年度	43 団	1～6 年生	7,467 人
中 学 校	昭和 61 年度～令和 3 年度	9 団	1～3 年生	1,718 人
計		52 団		9,185 人

出典：長野県長野地域振興局調べ

注 信濃町立信濃小中学校のみどりの少年団は小学校の区分に含めている。

Ⅲ 地域の森林・林業の主要・懸案事項

1 野生鳥獣被害対策の地域一体となった取組の強化

(1) ツキノワグマ対応

(単位：件)

区 分		H26	H29	H30	R 元	R2	R3	R4	R5	R6	R7
長野管内	目撃(里地)	157	71	140	160	202	171	98	145	153	257
県 内	目撃(里地)	1,575	600	749	1,332	1,437	1,059	770	1,401	1,428	1,324
	人身被害	31	6	5	8	12	16	8	11	12	11

出典：長野県林務部まとめ (H26 は大量出没年)

- ☐ 県(局)・市町村・地域・猟友会が一体となり、防護柵設置や緩衝帯整備、廃果除去等環境整備、捕獲対策等を組み合わせ、地域の実情に応じた取組を展開。
- ☐ 緊急銃猟制度が令和7年9月から導入されたことに伴い、市町村を対象とした机上訓練を令和8年2月4日に実施。

(2) ニホンザル対応

- ☐ 須高地区・小川村で被害が発生、県環境保全研究所と連携し被害対策を展開し、被害が軽減、持続的に対策を実施。

2 県産材の利用促進

- ☐ 「信州の森林と環境を守る県産材利用促進条例」(令和7年長野県条例第4号)を基に、長野地域における公共の建築物・土木工事等における県産材の利用促進に向けた具体的な取組を検討。
- ☐ 課内に検討組織を設置、関係部署と連携し、条例の勉強会や施設整備計画等への営業、管内の木材流通構造の分析等による県産材の供給体制の課題抽出等を実施。

(単位：千㎡)

素材生産量	H26	R 元	R2	R3	R4	R5	R6	R6/R5
計	60,749	82,952	66,895	65,652	60,888	66,392	70,665	106 %
国有林	18,781	32,738	20,022	28,109	25,775	27,669	23,912	86 %
民有林	41,968	50,214	46,873	37,543	35,113	38,723	46,753	121 %

3 長野地域の森林・林業の活性化に向けた主要課題への対応

(1) 野生鳥獣出没への対応

市町村に対し、ツキノワグマ管理に係るゾーニングの設定作業、緊急銃猟実施に訓練及び対応マニュアル策定の支援を行う。

(2) 県産材の利用促進

「信州の森林と環境を守る県産材利用促進条例」の取組の具体化を進めるための今後の計画等の作成を検討する。

(3) 古海県有林の木材生産計画作成

「県民に開かれた県有林」を目指し、本年度完了予定の林業専用道を活用して古海県有林の木材生産を計画的に行い、県有林としての木材生産の模範的かつ実験的な取組を進める。

(4) 地すべり地域における事業の検証

経過観察を継続している地すべり事業案件に関し、今後の対応について検討する。

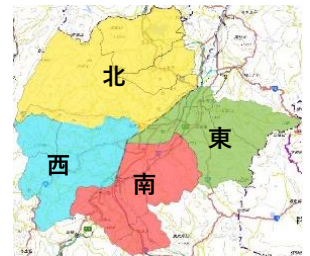
(5) 地域担当制の強化

ア 趣旨

現地機関の重要な役割の一つである市町村への支援を強化することで対話と共創を具現化するため、従来から個別の業務単位に割り振っていた各係の地域担当を横断的に再編成し、管内の4つの地域で共通する課題等にきめ細かく対応し、「地域から必要とされる林務課」を目指す。

イ 地域担当の班編成

班	担 当 地 域
東	旧長野市(若穂)・須坂市・高山村・小布施町
北	旧長野市(東・南・西班を除く)・飯綱町・信濃町
南	旧長野市(川中島・松代・篠ノ井)・千曲市・坂城町
西	旧長野市(信更・七二会)・長野市(中条・大岡・信州新町)・小川村



ウ 令和8年度の主な活動(予定)

◎共通テーマ：各市町村の実務者レベルの懇談及び課題検討

① 東班

- ☐ 米子採種園の管理運営支援

② 北班

- ☐ 長野地域森林祭(植樹祭)業務協力
- ☐ 緩衝帯整備の検証

③ 南班

- ☐ ツキノワグマ対策の支援
- ☐ 西条財産区植樹祭
- ☐ 一重山市有林整備支援

④ 西班

- ☐ 地すべり地域における山地災害対策業務の技術支援
- ☐ 小川村「景観整備作業」への参加